

令和6年度第4回東広島市入札監視委員会会議概要

1 会議名

令和6年度第4回東広島市入札監視委員会

2 開催日時・場所

令和7年3月18日（火） 15:50～16:48

東広島市役所本館4階 407会議室

3 出席委員

岩元委員、石垣委員、富田委員、神野委員、高島委員

4 出席職員

建設部災害河港課長、都市部区画整理課長、都市部営繕課長、
地域振興部福富支所地域振興課長、同課長補佐、事務局員

5 会議の概要

(1) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

次の事項について、事務局から説明を行った。

ア 入札方式別発注工事の状況

イ 指名除外措置の運用状況

(2) 検証対象工事の検証について

次の検証対象工事について、入札参加資格要件、工事概要等を事務局及び施工担当課から説明を行った。

ア 令和6年度 地域活動拠点整備事業ほか

高屋西地域センター・高屋中央保育所複合施設新築工事(建築)

イ 令和6年度 土木施設災害復旧事業・農業用施設災害復旧事業

高屋地区災害復旧工事（6－2）

ウ 令和6年度 資産管理事務 旧町営住宅解体設計施工一括工事

エ 令和6年度 八本松駅前土地区画整理関連公共事業

八本松地区交差点信号機移設工事

オ 令和6年度 道路維持修繕事業 道路舗装修繕工事（造賀上戸野線）

(3) その他

ア 次回の検証対象工事の抽出委員について

抽出委員は配布した名簿の順とし、次回の抽出は石垣委員が行うことで決定した。

イ 次回委員会の開催について

令和7年度第1回委員会の開催は令和7年5月頃の予定とし、後日調整を行うことで決定した。

6 発言の内容

(1) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

発言者	内容
	特になし

(2) 検証対象工事の検証について

ア 令和6年度 地域活動拠点整備事業ほか 高屋西地域センター・高屋中央保育所複合施設新築工事(建築)

発言者	内容
委員	2つの施設を複合化する目的は、どのようなものですか。
事務局	元々の場所は異なっていますが、どちらの施設も老朽化が進んでおり建替えの必要がございました。 それぞれで使いやすい場所を選定していく中で、候補地が一致したものです。
委員	複合化のメリットからというより、お互いに選んだ場所が一致したということですか。
事務局	選択肢に上がる土地がそれほど多くなく、候補地が一致したことで、この際複合化して建設しようとなった次第です。

イ 令和6年度 土木施設災害復旧事業・農業用施設災害復旧事業 高屋地区災害復旧工事
(6-2)

発言者	内容
委員	入札参加者が多い一方、落札率は低めで、競争性が働いていると思われませんが、多くの参加者が入札されたことの背景は分かりますか。
事務局	まず、災害復旧工事自体に入札者が多い状況があります。 また、他の工事に比べると単純な工事であることから入札者が増えているところがあります。 なるべく取りたいという思いで入札されている状況の中で、最低制限価格も低い値になりましたので、落札率が下がっていると思われれます。

ウ 令和6年度 資産管理事務 旧町営住宅解体設計施工一括工事

発言者	内容
委員	この工事は解体の設計施工一括工事ということですが、最近の建築工事の入札価格はかなり高くなる傾向があったと思いますが、解体工事についても同じ傾向にありますか。
事務局	500万円未満の解体工事を設計施工一括で発注していますが、設計と解体工事を別々に発注すると金額が上がる場合もありますので、少しでも安くする意味で一括発注させていただいています。 過去の例でも入札者が2者又は3者と少ないこともあって、やや高くなる傾向はありますが、この工事では、1者の入札額は高かったのですが、もう1者は最低制限価格よりもわずかに低い額で入札していて、最低制限価格がもう少し低ければ、そちらの業者が落札者となった状態です。 過去の案件では落札率は92%前後で推移していますので、解体工事では高い傾向が続いているというわけではありません。
委員	なるべく安くするために設計と施工を一括で発注されているという理解でよろしいでしょうか。
事務局	はい、そうです。
委員	設計施工一括工事は2件発注されていますが、入札業者も同じで、偶然同じ業者が落札されていると思いますが、こうした解体工事は、業者によって設計も含めてやる点でノウハウをお持ちであるとか、こういう点が難しいので避けられたりといった理由は分かりますか。
事務局	500万円未満ということで、難しい工事ではないので簡易な形で発注しています。 設計図面を描かなければいけない点が、もしかすると業者の中では手間に感じているのかもしれませんが。

エ 令和6年度 八本松駅前土地区画整理関連公共事業 八本松地区交差点信号機移設工事

発言者	内容
委員	入札辞退が多いですが、要因として考えられることを教えてください。
事務局	全者辞退で入札不調となったわけではないため、原因把握のための調査は行っていません。 印象としては東広島市内に近い業者が応札していると感じています。
委員	参加資格は専門性を有する施工業者ということですが、全ての業者に開かれたものなのでしょうか。
事務局	信号機移設に関しては県警本部から信号機工事に関する業者の一覧を提供いただき、そこに記載された業者の中で、東広島市の工事入札参加資格を持ち、かつ、電気工事業でAランクの業者を指名いたします。 該当する業者が8者あり、今回入札されたのが2者ということです。
委員	県警のリストにある業者がどのような理由で選ばれているかまでは、市で

	は把握されていないのですか。
事務局	はい。
委員	問題はないと思いますが、透明性や公平性の点でどうなっているのかが気になると思います。
事務局	信号機設置は制御機の調整などもあるため、工事として特殊なところがあります。 工事図面を作成する際も県警本部へ協議する必要があると、設計や工事内容を熟知されている業者を選定されていると認識しています。
委員	悪く見れば、警察の方で価格計算に際して何かの値段を高く設定することで業者を絞ったりもできなくないと思います。その辺りの透明性がもう少しクリアになる可能性があるといいと思います。
事務局	積算方法に関しては、見積金額を取って、予定価格に反映していたと思います。入札参加の指名については、今回の意見を踏まえて警察に対して、どういう条件で、どういう理由で選ばれたかについて確認したいと思います。
委員	値段がどうというよりは機会の問題ですが、どうしても実績がある業者さんだけが指名されて、新規参入は難しくなってしまう面はあると思います。 信号機なので高い専門性や経験を有するところに発注したいとなるのは分かるのですが、何かしらの方向で1者でも2者でも新しくその指名グループの中に入れるように、例えば実績は備えていなくても専門性が高いということが別の形で担保できれば入れるような形になれば、参加の公平性として望ましいと感じました。
委員	こうした信号機工事は県警からではなく、市町が発注をかけるのが通常の形という理解でよろしいでしょうか。
事務局	移設の原因が東広島市の工事のため、市で発注しています。

オ 令和6年度 道路維持修繕事業 道路舗装修繕工事（造賀上戸野線）

発言者	内容
委員	随意契約となった理由の緊急性について、写真を見ると道路に亀裂や窪みがあつてかなり酷い状況にあると思います。これは、それ程状態は悪くなかったのが、ある時点で急激に悪化したというような緊急性に繋がるような事情があつたのでしょうか。
事務局	始めはポットホールができていたものが、次第に亀裂が広がる状況になり、梅雨の時期が重なったことで、急激に悪化した状況でございます。
委員	随意契約は比較的落札金額が予定価格に近くなることが多いという印象がありますが、3件のうち2件は比較的落札率も低く、地域の特性もあるとは思いますが、低くなった背景が分かりますか。
事務局	舗装工事は人気がある工事のため、落札率が低くなった一番の理由だと思います。 特命随契ではなく競争随意契約ということ、また最低制限価格を設けてないということも影響して、概ね90%での落札になった状況です。